

令和7年度第2回松戸東警察署協議会

1 開催日

令和7年9月19日（金曜日）

2 開催場所

松戸東警察署

3 出席者

・協議会委員8人 ・警察署10人

4 業務報告

（1）松戸東警察署管内の犯罪情勢等について

（2）松戸東警察署管内の交通情勢について

5 警察署からの諮問事項

【諮問】 効果的な警察官採用募集活動について

【答申】 警察は、「堅い」「組織」「上下関係に厳しい」などのイメージがあるほか、普段警察官を見かけた際も、悪いことをしていないのになぜか怖いという印象を感じてしまいます。

ただ、落とし物の件で交番へ行くことがあった際に、和気あいあいとした雰囲気に対応してくれて、話をすれば親しみやすさがあることを知りましたし、何かあればすぐに駆けつけてくれる頼もしい存在だと思います。

過去に110番通報をしたときに刑事さんと話をしたのですが、気が動転している私に対し、丁寧に話しかけ寄り添ってくれました。

難しいかもしれませんがイメージの払拭が必要かもしれません。

採用はどの企業も難しくなっています。

最近は入社しても給与や休みなどを優先して、すぐにやめてしまう人が多いです。

その代わり中途採用者が増えていて、30代から40代の方も採用しています。

中途採用でもキャリアアップを目指している人は必ずいるので、『人材を育てる』という意識が大切であり、それが採用者から辞退者を出さないことにつながることを考えます。

また高校や大学へ行って、各学校の生徒のみならず教員とも関係性を築き、

積極的にPRしていくことが大切だと思います。

6 委員からの要望・意見等

【質問】 外国人が主体になり、海外から指示を出し、犯罪は日本国内で起こしている犯罪が増えているが、その対処方法がありますか。

【回答】 相手と連絡を取り合ってしまうと口車に乗せられてしまうので、身に覚えのない請求などについては無視をする、あるいは警察や家族などの第三者へ相談することが一番効果的です。

【質問】 最近の犯罪傾向として、SNS等で警察の名をかたる詐欺被害が増加しており、その被害者は意外にも若者が多いようですが、その対処法はありますか。

【回答】 詐欺の手口が巧妙化しており、20～30代の被害も増えていることから、身に覚えのないものは無視をするとともに、若者のネットに対するリテラシーを上げていくことも大切になっていきます。

【質問】 新聞などで20～30代の詐欺被害が増加しているとありましたが、松戸東警察署管内はいかがでしょうか。また、これからネット社会でさらに増える可能性があれば高齢者への詐欺被害に関する注意喚起だけでなく、これから社会へ出て行く学生（高校・大学生）にも指導・アドバイスする機会が必要となってくるのではないかと感じています。

【回答】 最近の手口として、ニセ警察官詐欺があり、偽物の制服を着て偽物の逮捕状を示し「あなたに逮捕状が出ている」などと脅されてネットバンキングで送金してしまうものがあります。最近では携帯に電話をかけてくる傾向にあり、若者にも被害が増加しているので、SNS等で特殊詐欺対策の広報を進めていきます。

【質問】 外国人が安心して相談できる窓口づくりについて、現在警察ではどのような取り組みを行っていますか。

【回答】 「多言語コールセンター」という110番通報時に通訳を介して3者（警察官、通訳、通報者）で話ができるものがあります。また交番でも「コミュニケーション支援ボード」というイラストで伝えたいことが描かれたものがあるほか、各警察官が所持している装備品に翻訳アプリが搭載されたものがあり、外国人とも円滑なコミュニケーションができるような取り組みを行っています。

【質問】 行方不明の高齢者について、具体的な事例を教えてください。どうしたら協力できますか。もし、認知症の家族が徘徊のおそれがあった場合は「登録」

するようなシステムはありますか。

【回答】 具体的な事例として認知症を患っている人が徒歩や自転車で移動して「家に帰れない」という状況になるものがほとんどです。市と協力して防災無線を通じ広報を図っているので、もし似ている人を見かけたら警察へ連絡していただきたいと思います。徘徊のおそれがある方を「登録」するようなものはないですが、服やリュックなどに名前を記載したり、GPSがあると早期発見確保につながります。

【質問】 警察署では難しいかもしれませんが、上司が率先して署員の意見を聞いて、自由な意見を交わせる場を設ける。或いは匿名アンケート等で意識調査をして課題を特定、改善策を講じ、常に情報共有に努めることはできますか。

【回答】 署内に意見箱を設置しているほか、各課庶務係長による会議を開き意見交換を実施しています。署員から改善策を吸い上げており、これまでも月1回の全体会議の時間短縮やペーパーレス化も図ってきました。

【質問】 神戸で発生したストーカー殺人事件のような凶悪事件があった際に、危険情報をメール等で配信する仕組みはありますか。

【回答】 「安全安心メール」という電子メールがあり、重要事案等が発生した際配信して広報を行っています。そのほかにも報道発表を行い、早期周知を図っております。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

なし